

第33回市民総合スポーツ大会

第24回福岡市障がい者スポーツ大会 大会要綱・申込書

- 総 合 開 会 式
- 陸 上 競 技 大 会
- フライングディスク競技大会
- レクリエーション大会

会 期 令和元年10月27日（日）[小雨決行]
9時30分～15時20分（予定）

会 場 東平尾公園博多の森陸上競技場
補助競技場

主 催 福岡市障がい者スポーツ協会、福岡市、福岡市教育委員会
（公財）福岡市スポーツ協会、NPO 法人福岡市レクリエーション協会
福岡市スポーツ推進委員協議会、各区体育振興会
（社福）福岡市身体障害者福祉協会、（社福）福岡市手をつなぐ育成会
（社福）福岡市社会福祉協議会、（社福）福岡市社会福祉事業団

大会要綱

1. 目的

障がいのある人が、初心者から上級者のレベルの人まで幅広い年齢層にわたって、各種スポーツとレクリエーションに参加し、健康や体力の維持・増進を図り、自己の可能性へ挑戦するとともに、すべての福岡市民に障がい者スポーツに対する理解を深めるため。

2. 主催

福岡市障がい者スポーツ協会、福岡市、福岡市教育委員会、(公財)福岡市スポーツ協会、
NPO法人福岡市レクリエーション協会、福岡市スポーツ推進委員協議会、各区体育振興会、
(社福)福岡市身体障害者福祉協会、(社福)福岡市手をつなぐ育成会、(社福)福岡市社会福祉協議会、
(社福)福岡市社会福祉事業団

3. 主管

福岡市障がい者スポーツ大会実行委員会、福岡市陸上競技協会、市民総合スポーツ大会実行委員会

4. 後援(予定)

朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、西日本新聞社、日本経済新聞社西部支部、産経新聞社西部本部、
時事通信社福岡支社、共同通信社福岡支社、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、FBS福岡放送、九州朝日放送、
TNCテレビ西日本、TVQ九州放送(順不同)

5. 特別協賛(予定) 福岡NOZライオンズクラブ、福岡筑前ライオンズクラブ

6. 協賛企業(予定) 20社

7. 総合開会式(小雨決行)

- (1) 開催日時 令和元年10月27日(日)午前9時30分から午前10時00分終了予定
- (2) 会場 東平尾公園博多の森陸上競技場

8. 陸上競技大会(雨天決行)

- (1) 開催日時 令和元年10月27日(日)午前10時40分から午後3時00分終了予定
- (2) 会場 東平尾公園博多の森陸上競技場
- (3) 競技種目

①個人競技

競技種目表(別表1)の該当区分の競技種目から、一人2種目まで申込みことができる。

なお、身体障がい者、内部障がい者(ぼうこう又は直腸機能障がい)、知的障がい者の障がい区分や、年齢区分に応じた競技種目については、令和元年度第19回全国障害者スポーツ大会と同じもの(予定)を採用する。その他の障がい者(精神障がい者)については全国障害者スポーツ大会の予選を兼ねない。

②団体競技

学校、施設、作業所等の対抗400mリレー(100m×4人)を身体障がい者の部、知的障がい者の部、内部障がい者(ぼうこう又は直腸機能障がい)の部、車いすの部(電動含む)、その他の障がい者の部に分けて行う。リレーについては大会の進行上、1レース15分程度を目処とする。各団体2チームまで申込みことができる。リレーについては、全国障害者スポーツ大会の予選を兼ねない。

9. フライングディスク競技大会（雨天決行）

- (1) 開催日時 開催日時 令和元年10月27日（日）午前10時30分から午後3時00分終了予定
- (2) 会場 東平尾公園博多の森陸上競技場
- (3) 競技種目
 - ①身体障がい者と知的障がい者及び内部障がい者（ぼうこう又は直腸機能障がい）の競技種目とする。
 - ②アキュラシー（正確性）とディスタンス（飛距離）の2種目を行う。種目の選択はできない。
 - ③アキュラシーはディスリート5（5m）かディスリート7（7m）のどちらかを選択する。
 - ④アキュラシーは全障がい男女同一区分で実施し、ディスタンスは全障がいを座位、立位に分け男女別に実施する。

10. レクリエーション大会（雨天中止）

- (1) 開催日時 令和元年10月27日（日）午前10時20分から午後3時00分終了予定
- (2) 会場 博多の森陸上競技場（補助競技場）
- (3) 種目 [午前の部] 1. ボール運び 2. ボール転がし 3. 玉入れ
[午後の部] 4. 物干しゲーム 5. じゃんけん列車
注「1. ボール運び」「5. じゃんけん列車」については健常者（施設職員、ボランティア等）との共同ゲームとする。

11. 参加資格

福岡市内在住または福岡市内の施設、学校等に入所及び通所並びに通学している者で、身体障がい者、内部障がい者（ぼうこう又は直腸機能障がい）は身体障害者手帳所持、知的障がい者及びその他の障がい者は療育手帳もしくは、保健福祉手帳を所持またはこれに準ずる障がいがある中学生以上の方。（令和元年10月27日現在）
※レクリエーション大会については、小学生以上の参加が可能。（申込書に記入）

12. 申込方法

原則として施設、学校、作業所、クラブ・サークル等の団体で取りまとめて、各競技の総括申込書と一緒に添付して申込むこと。団体等に所属していない方は個人で申込みができる。申込書はコピー可。ホームページからもダウンロード可能。

申込書は、直接下記申込先に持参又は郵送のみとし、電話・ファックスによる申込みは受付けないものとする。

- (1) 申込み期間 令和元年6月17日（月）～令和元年7月8日（月）必着
※期間を過ぎての申込みは、組合せ等の作業に支障を来しますので受付できません。あらかじめご了承ください。
- (2) 申込み先 福岡市障がい者スポーツ協会

〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-3-39 福岡市市民福祉プラザ3階
電話 781-0561 FAX 781-0565
ホームページ <http://www.suporeku-fuku.com/>

13. 参加料 無料とする。（ただし、参加に要する諸費用は、参加者の負担とする。）

14. 表彰

陸上競技の個人競技及びフライングディスク競技の各組毎に行う。各組3位までの入賞者にはメダルを授与する。
また、陸上競技の団体競技である施設・団体対抗400mリレーについては、各組3位までの入賞チームにトロフィーを授与する。

15. 記録

陸上競技及びフライングディスク競技記録は、当日場内に掲示するとともに、大会終了後、福岡市障がい者スポーツ協会ホームページ <http://www.suporeku-fuku.com/> に掲載する。

16. 健康・安全管理

- (1) 参加者は、十分な健康、安全管理に努める。
- (2) 競技中に事故が発生した場合の治療費は原則として、本人の負担とし、主催者は応急処置のみ行う。なお、主催者において傷害保険に一括加入する。

17. その他

- (1) 身体障がい者、知的障がい者の陸上競技及び、フライングディスク競技については、令和2年度第20回全国障害者スポーツ大会（鹿児島大会）の予選を兼ねるものとする。
- (2) 競技をまたがったの申込みは、大会の進行上に支障を来しますので出来ません。予めご了承ください。
- (3) 市内各所から（往路、復路）の大会送迎バス（無料）を運行予定です。
- (4) 競技場内への入退場は、係員の指示に従ってください。出場選手の介助等のため競技場内に入場できる者は予め許可を受けた者に限ります。競技場内での写真撮影等はお断りいたします。
- (5) 個人情報については、大会当日、報道機関等の取材が予想されるため、選手の写真・映像・氏名等がテレビや新聞等で報道されることがあります。また、大会プログラム及び大会記録集には、障がい区分、年齢区分、氏名、所属団体等を掲載し、主催者のカメラマンが撮影した写真を協会ニュース及び協会ホームページ、次年度ポスター等に掲載し、市や関係団体の催し等に展示することがありますので予めご了承の上、お申込み願います。（個別対応は致しかねます。）

福岡市独自の競技及びルールについて

【陸上競技】

<競技運営について>

- 全国大会出場希望の有無により組み合わせを行う。全国大会出場希望者については、競技規則に準じて競技を行い、希望しない組については若干の緩和措置を設ける。

<精神障がいクラスについて>

- 精神障がいのクラスについては、全国障害者スポーツ大会の出場種目がないため、福岡市独自に種目を設定している。組毎に上位3名を表彰する。

<介助者について>

- 介助者の内容はスタート位置までの声かけや誘導等となっており、スタート準備が整い次第、介助者はゴールの場で待機する。

<伴走者について>

- 本大会では視覚障がい者以外の障がいでも、理由がある場合には伴走者をつけての出場を認める。その場合、表彰の対象外のオープン参加とする。（タイム計測はおこなう。）ただし、レーンの組み合わせ上、申込み後の伴走者の申請は認めない。
- 競技者と並走して声かけ等をおこなう場合は伴走とみなす。

<跳躍競技について>

- 立幅跳の踏切は、踏切板を使用せず、砂場近くに踏切線を設ける。
- 走幅跳は1m以上の跳躍力がないと踏切板から砂場に届かず危険なため、申し込む際には注意する。
- 走高跳のバーの高さの上げ幅は審判長が決定する。選手はあらかじめ跳び始める高さを決めておく。ただし、1m以下は測定不能とする。

<団体競技について>

- 学校、施設、作業所等の対抗400mリレーは全国障害者スポーツ大会の予選を兼ねない。
- 車いすの部（電動含む）については、1チーム4名で400mを走っても良い。（距離の選択可）

【フライングディスク競技】

<アキュラシー競技について>

- 競技規則ではサイトの設置は追い風を原則としているが、運営上、サイトの方向変更はおこなわない。
※吹き流しは設置
- 競技規則では試技の時間はプレーヤーが1投目のディスクを受け取ってから5分としているが、競技進行上、今大会では3分とする。3分をこえた試技は無効とする。
- 競技規則ではいくつかの条件でも順位が決定しない場合、再投は最大5セットとしているが、競技進行上最大2セット（1セット3投）とする。

<ディスタンス競技について>

- 競技規則では1サイトは横20m以上、縦60m以上としているが、運営上、この限りではない。

<別表1>第24回福岡市障がい者スポーツ大会個人競技・種目

1. 陸上競技

◎男女別・年齢区分別 ▲男女別・年齢区分なし ○男子のみ・年齢区分なし △女子のみ・年齢区分なし

年齢区分については 令和元年10月27日現在			競走						跳躍			投てき				
区分番号	障がい区分	50m ※1	100m	200m	400m	800m	1500m	スラローム	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー	ビーンバグ投	
																【身体・内部障がい者】 1部 39歳以下 2部 40歳以上
1	上肢	1 手部切断 片前腕切断または、片上肢不完全 片上腕切断または、片上肢完全	◎	◎				◎ ※3			◎	◎	◎	◎	◎	
		2 両前腕切断または、片前腕および片上腕切断 両上肢不完全	◎	◎						▲	◎	◎				
		3 両上腕切断または、両上肢完全	◎	◎						▲	◎	◎				
	下肢	4 片下腿切断または、片下腿不完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎	
		5 片大腿切断または、片下腿完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎	
		6 両下腿切断	◎	◎							◎		◎	◎	◎	
		7 片下腿および片大腿切断 両下腿不完全	◎								◎		◎	◎	◎	
		8 両大腿切断または、両下腿完全											◎	◎	◎	
	体幹	9 体幹 ※2	◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎	◎	
2	脳原性麻痺 以外で車いす 常用、使用	10 第6頸髄まで残存	◎	◎				◎							◎	
		11 第7頸髄まで残存							◎						◎	
		12 第8頸髄まで残存		◎ ※3	◎ ※3			◎ ※3	◎ ※3				◎	◎	◎	
		13 下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎		◎						◎	◎	◎	
		14 下肢麻痺で座位バランスあり							◎ ※3				◎	◎	◎	
15 その他の車いす		◎ ※3	◎ ※3			◎ ※3					◎	◎	◎			
3	脳原性麻痺 (脳性麻痺、 脳血管疾患、 脳外傷等)	16 四肢麻痺で車いす使用	◎					◎							◎	
		17 けて移動	◎					◎							◎	
		18 片上下肢で車いす使用	◎						◎					◎	◎	
		19 上肢で車いす使用	◎	◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎	
		20 その他走不能											◎	◎	◎	
		21 上肢に不随意運動を伴う走可能	◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎	
		22 その他走可能	◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎	
4	23 電動車いす常用							◎							◎	
視覚障がい ※5	24 視力0から0.01まで ※6	◎	◎	◎		◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎		
	25 その他の視覚障がい	◎	◎	◎		◎	◎		▲	◎	◎	◎	◎	◎		
聴覚・平衡機能障がい、 音声・言語・そしゃく機能障がい	26 聴覚障がい	◎	◎	◎		◎	◎		▲	◎	◎	◎	◎	◎		
知的障がい	27 知的障がい	◎	◎	◎	◎	◎	◎		▲	◎	◎		◎	◎		
内部障がい	28 ぼうこう又は直腸機能障がい	◎					◎			◎	◎		◎	◎		
その他の障がい	29 精神障がい ※4		▲	▲					○		△		▲			

※1 50m競走で使用使用する車いすは日常生活用とする。

※2 体幹とは頸部・胸部・腹部及び腰部(脊柱)のみに変形がある者(脊椎カリエス等による体幹の障がい)が該当する。
ただし、四肢の機能障がいを伴う場合は体幹の機能障がいであってもこの区分には該当しない。

※3 複数の障がい区分にわたり1つの◎がついている場合は、一つの区分として競技をおこない、順位を決定する。

※4 その他の障がい(精神障がい)については全国障害者スポーツ大会の予選を兼ねない。(該当競技ではないため。)

※5 視力は「矯正後の両眼視力」の和で判定する。視力の和を算出する際、光覚弁、手動弁は視力0、指数弁は視力0.01とする。

※6 障害区分24は光を通さないアイマスクまたはアイシールドを装着する。

【注】競走競技は50mと100m、跳躍競技は立幅跳と走幅跳、投てき競技は障がい区分8を除き、ソフトボール投とジャベリックスローの両方に申込みすることはできない。

2. フライングディスク

◎区分なし ●男女別

	アキュラシー		ディスタンス	
	ディスリート5	ディスリート7	座位	立位
肢 体 不 自 由				
視 覚 障 が い				
聴 覚 障 が い	◎	◎	●	●
知 的 障 が い				
内部障がい(ぼうこう又は直腸機能障がい)				

令和元(2019)年度全国障害者スポーツ大会競技規則改正に伴う
福岡市障がい者スポーツ大会の競技規則等の一部改正について

【陸上競技】

＜視覚障がい者の競技について＞

- 視覚障がいの区分24に属する者は、競技エリアにて光を通さないアイマスクの装着が規則で定められているが、新たに光を通さないアイシェードの装着も可とする。
- ※アイシェードはフェイスパッド（顔に接する部分）のすべてが顔と密着し、ゴムバンドなどを頭の後ろにかけて固定するタイプのもので、サングラスタイプのものは認めない。

福岡市障がい者スポーツ大会確認事項について

- 招集完了時刻に遅れた選手については、棄権したものとみなす。
- 介助・伴走が必要な選手については、介助申請所にて申請し、「介助・伴走者ビブス」を受け取り、必ず着用して競技場内へ入ること。
- 介助者による競技中の助力は認められない。助力を受けた選手は失格とする。
- 競技に使用する用具（ソフトボール、ビーンバッグ、砲丸、バトン、フライングディスク等）は、事務局が用意する。ただし、競技者の補装具（車いす(レーサー含む)、杖、義肢、義足等）や衛生上、貸出の難しいもの（ヘルメット、アイマスク、アイシェード等）については競技者が用意すること。
- 出場する競技については、事前に競技規則や競技方法を確認しておくこと。大会当日は、競技方法等を説明する時間は設けていないため、不明な点等がある場合は、事前に事務局まで連絡すること。

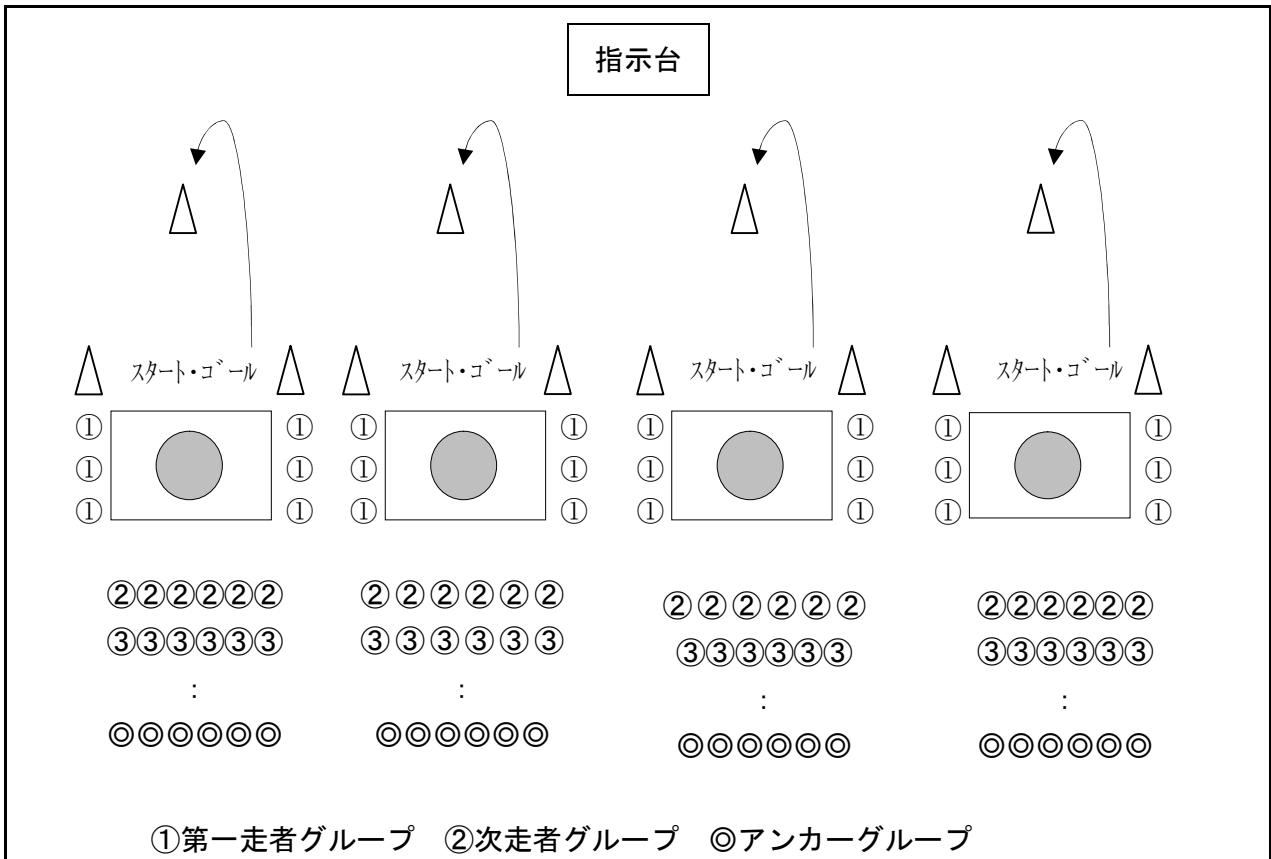
レクリエーション

<午前部>

～健康レクササイズ（全員参加）～（準備運動を兼ねる）

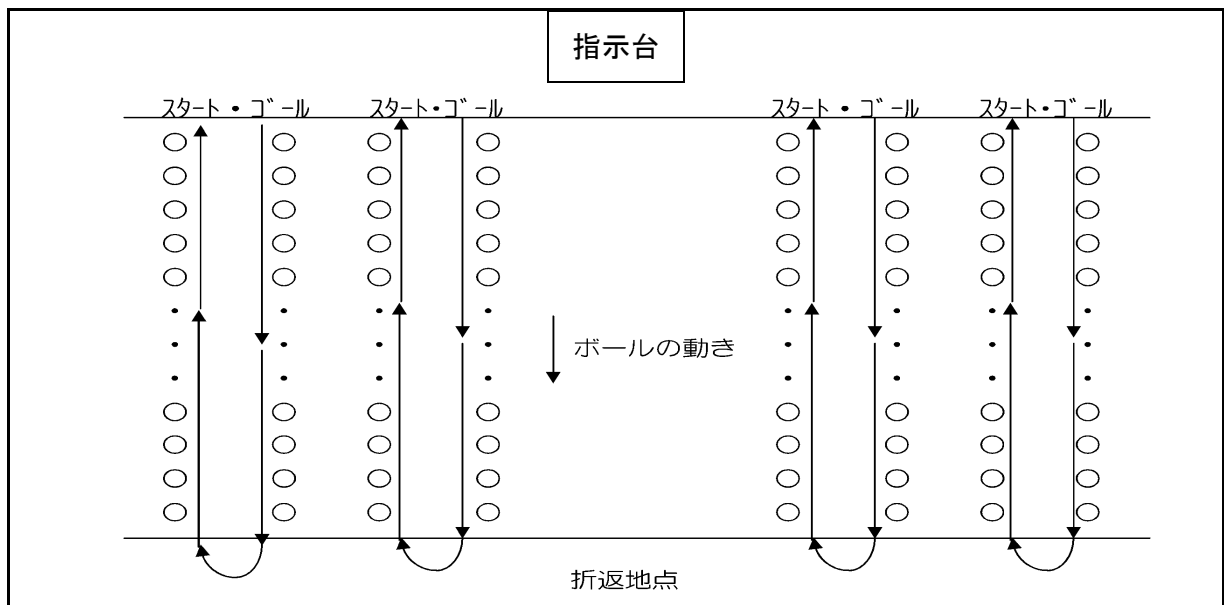
1. ボール運び（障がい者・保護者・関係職員・ボランティア）

4ブロック対抗で1組6名で大判のシートに、大きなボールを乗せて運ぶレース。
第一走者から次走者へとシートとボールを渡していくレース式競技。



2. ボール転がし（障がい者）

各ブロック、2列で向かい合い、前にいる人と2人でボールを持ち、隣の2人に転がしながらボールを渡し折返し地点まで転がす。最後の2人まで転がしたらそのまま折り返し、行きと同じようにゴールまでボールを転がす。



3. 玉入れ（障がい者）

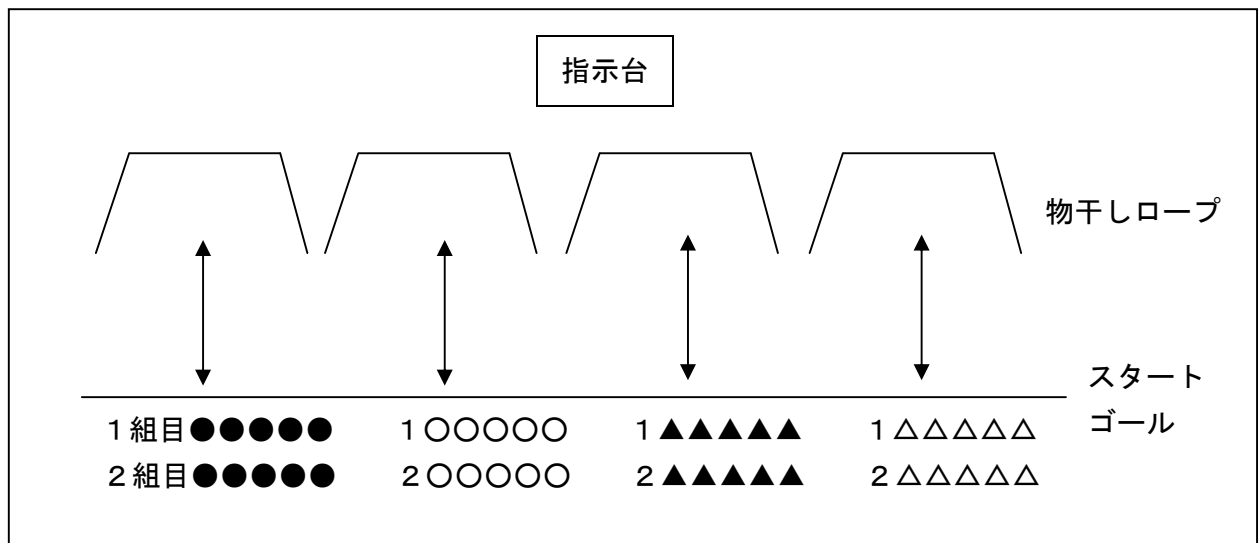
決められた時間内にブロック指定のカゴに玉を入れ、多く入れたブロックの勝ちとする。
2ブロックずつ行う。（1セット）

<小休憩> 出演者調整中

<午後の部>

4. 物干しゲーム（障がい者）

4ブロック対抗。1組5名でカゴに入ったタオル等を物干しロープに干し、空のカゴを次の走者組に渡す。2番目の走者組は干してあるものを取ってカゴに入れ、次の走者組に渡す。（走順が奇数組は干す、偶数組は取り込む）



～ダンス発表～（予定）

5. じゃんけん列車（障がい者・保護者・関係職員・ボランティア）

出場者全員で、身近な人を見つけてじゃんけんをして、負けた人が勝った人の後ろにつき肩に両手をかけ「列車」になる。その後も、先頭同士がじゃんけんをして繰り返していく。（じゃんけんが出来ない人は、口答または介助者や参加団体の方にじゃんけんをしてもらう。）

最後は一つ輪になる。

～健康レクササイズ（全員参加）～（整理運動を兼ねる）